



## ラオス

### ラオス南部パクセにおける高校進学援助の為に 寄宿舎（坂雲寮）運営事業

特定  
非営利  
活動法人  
NGOクワトロ

NGO クワトロは、開発途上国の特定の地域や人々に対して、「人材育成、技術指導、市場開拓などの支援のための各種事業を行って、地域や人々の厚生を改善を図る」ことを目的として活動しています。主にはラオスにおいて寄宿舎運営事業、学校建設支援事業、生産者支援事業に加え、日本国内においても展示会参加等を通じた啓蒙活動に取り組んでいます。

#### ■ 事業の概要

本事業は、ラオス南部パクセにおける主に少数民族を含む農村に住む学生を対象とする高校進学支援事業です。成績が優秀にも拘らず、家庭の事情やアクセス面の課題から高校へ通うことが困難な高校生向けに、当団体は2017年より寄宿舎（坂雲寮）を開設・運営しています。例年、新入生を10名前後定員として受入れており、寄宿舎というハード面の環境提供にとどまらず、日本語教育や規律ある生活指導によりラオスの将来を担う人材、また日本とのかけ橋となる人材育成に取り組んでいます。

#### ■ 事業の結果

令和2年度においては当初、新入生10名の受入予定としていたものの、新型コロナウイルスの影響により受入を断念することとなりました。他方で、本基金の助成を受けつつ今年度は以下の支援を実施しました。

- ・ 老朽化していた寮内の建屋の各種修繕の実施。
- ・ 学生が生活する上で必要となる日用品、教材などの供給。
- ・ 新型コロナウイルス対策のマスク・除菌ジェルなどの継続的な支給。

これらを通して、学生達へ良質な教育を受ける環境整備が出来ています。

門の修繕



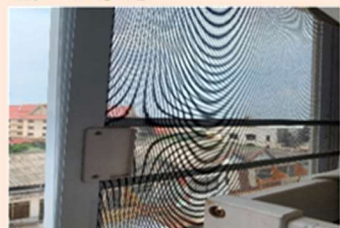
屋根の修繕



階段の修繕



網戸の修繕



2017年より継続して受入開始した第1期生及び2期生18名に加え、2019年に第3期生9名の受入れを実施。2020年に無事第1期生が卒業でき、足下は全年齢総勢18名での運営実施が実現出来ております。

子供たちの高校での成績はいずれも優秀で、高校ばかりか、同国の県教育局、県知事に至るまで大いに支援をしてくれる事業になりつつあると確信しています。

坂雲寮で生活する子供たち  
教材や文房具などを支給



第1期生は2020年に卒業を迎え、ラオス国公立大学へ5名、専門大学へ4名、合格をしており、各々の希望する進路を実現させており、引き続き当団体から支援を継続することで、2期生、3期生のそれぞれのありたい進路実現を支援して参ります。

### ■ 本基金採択3年目としての成果

本基金から助成を受けて3年目となりますが、おかげ様で継続して子供たちを受入れることができています。ラオス現地及び、日本国内の支援者・企業内でも認知度が向上しており、2020年にはこれら取組に対して、チャンパサック県知事より感謝状を受領しました。

また、2017年に初めて入寮した第1期生は学力も優秀で、難関国公立大学等へ合格し、それぞれの進路を歩んでおり、そのうち1名は日本語教師として坂雲寮への教育を通じて還元しており、良い循環が生まれています。更には、ラオスに進出している日系建設企業に卒業生の内、2名が採用されており、当初の本事業の目的の1つである日本とラオスの架け橋となることが達成されつつあると考えています。

視察時の寮生との集合写真



チャンパサック県からの感謝状

